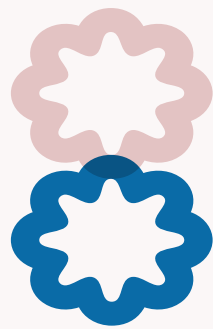


SORATOBIS! KAKUDA



補助申請の流れ

各項目の詳細やスケジュールについては角田市のHPからご確認ください。

1 参加したいプログラムを探して
計画を立てる

2 説明会に参加して（要申込）
補助申請する

3 書類選考・面談（随時実施）
補助採択結果の通知

4 採択者対象の
事前研修を受ける

5 補助申請したプログラムに
参加する！

6 事後研修を受けて
報告書を提出する

よくあるご質問

Q. 申請したいのですが、何から始めればいいですか？

A. まずは説明会に参加し、興味があるプログラムを見つけてみましょう。申請に当たって不安なことなどがあれば、お気軽にお問い合わせください。

Q. どんなプログラムが補助対象になりますか？

A. 国、地方公共団体、学校及び民間団体等が主催し、高校生の探究活動の推進を目的とした研修が対象です。修学旅行や部活動などについては対象になりません。詳細はお問い合わせください。

Q. 補助申請をした後は、どのような審査がありますか？

A. 書類と面談による審査があります。探究的な視点をもって参加しようとしているか、これで得た経験や知識を地域社会に還元する計画性があるかなどが審査されます。

Q. 他の助成金や奨学金とあわせて受け取るとは可能ですか？

A. 可能ですが、プログラム参加費のうち他の助成金を差し引いた金額から2分の1以内を当事業の補助対象とし、国内研修の場合は5万円、海外研修の場合は20万円が上限額となります。

お問合せ先

角田市教育委員会 生涯学習課

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館10 角田市市民センター内
電話：0224-63-2221 / メール：syougaku@city.kakuda.lg.jp



説明会の
詳細や参加申込は
こちらから

自由なプログラム選択可能・充実したフォローあり！

角田から、行ける世界がある。

留学したい高校生を応援！

そらトビ！かくだ

角田市高校生探究研修支援補助金
制度紹介パンフレット

SUPPORT!

研修費
1/2を補助！

※詳しくは中面を
ご覧ください

地域を飛び出して、国内外で 学びたい高校生を応援します！

変化の時代、そして人生100年時代とされる現代では地域・社会に多様な課題が存在しています。また、情報化の発展から、実際に体験・経験する価値がこれまで以上に高まっています。グローバルな視点で考え、ローカルに行動できるグローバル人材の必要性が叫ばれる中で、角田市を飛び出して国内外での学びから地域探究に取り組む高校生を応援します！



〈地域探究〉とは？

自らの興味や関心に基づいて課題を設定したうえで、解決に向けた情報の収集・整理・分析を行い、対話・協働し、地域でのアクションから学ぶ取り組みが「地域探究」です。

！こんな高校生に

角田や地域に興味がある、国内外に留学を検討しているなど、下記に当てはまる高校生からの応募をお待ちしています！

自分たちが暮らす角田の未来を
より良くしていきたい

他地域の課題や解決に向けた
取り組みを学びたい

異文化の価値観に触れて
幅広い視野を身につけたい



参加者レポート

REPORT-1

宮城第一高校2年(北角田中学校出身)
フリープログラム：ニュージーランド
期間：21日間

世界と角田をつなぐ、 リーダーへの第一歩

ニュージーランドで環境教育や自治の仕組みを学びました。トビタテ！留学JAPANと市の補助を併用し、妥協のない探究を実現。帰国後は母校や市の催事での報告、専門誌への寄稿など、一過性で終わらない「発信」の機会を市にバックアップしていただきました。



！おすすめポイント

補助金だけでなく、報告会や活動などアウトプットの場まで市が伴走してくれるのが魅力。角田の代表として成長を実感できます！

REPORT-2

角田高校2年(北角田中学校出身)
モデルプログラム：フィリピン・ネグロス島
期間：8日間

世界の現場で知る、 たくさんの出会いと 笑顔の最前線

カカオ栽培やソーシャルビジネス、子供への英語支援など国際協力の現場を肌で感じました。最初は未知の環境への不安もありましたが、経験豊富な引率の方のサポートがあったおかげで、目の前の探究活動に全力で集中できました。教科書では学べない現地の熱量と人々の笑顔に触れた経験は、一生の宝物です。



！おすすめポイント

引率による安心感が抜群！初めての海外や少しハードルが高い挑戦も、市が全力で背中を押してくれます。

REPORT-3

角田高校1～2年(10名)
フリープログラム：アメリカ・デラウェア州
期間：12日間

仲間と踏み出す、異文化から 見つめ直す自分の可能性

ホームステイを通して、生きた英語とアメリカ文化を吸収しました。10名の仲間とそれぞれの探究視点を持つて渡航しましたが、出発前の事前研修があったことで、目標を明確にして現地入りできました。帰国後の研修でも互いの学びを共有し、一人では得られなかった多角的な視点を持つことができました。



！おすすめポイント

事前・事後研修が充実。渡航前後のサポートがあり、ただの旅行で終わらない深い学びと仲間との絆が得られます！

PROGRAM 1

タイの少数民族の暮らしに学ぶ。未来の地域コミュニティを考える旅

自然とともに生きる山岳民族の村を訪れます。そこでは、地域の人たちが協力しながら生活することが常識となっています。そのような、地域コミュニティの存在が社会課題の解決にもつながることを学びます。さらに、地域と協力してビジネスや支援活動を行う団体の取り組みを学びます。これらの体験から、日本の地域(角田市)の未来や、これからのコミュニティのあり方について考えます。

日程：4泊5日

費用目安：¥440,000 ※あくまで参考価格であり、変動する可能性があります

学習形式：探究型・フィールドワーク

参加規模：少人数制(対話を重視)



PROGRAM 2

モデルプログラム：首都圏大学体験コース

環境×地域×宇宙の 3つのテーマで探究学習



首都圏に集積するSDGs課題、大学の最前線、先端産業を高密度に体験する2泊3日のプログラムです。学術(埼玉大)・市民(早大生)・産業(JAXAベンチャー)という異なる主体の目的とアプローチを比較しながら学びます。自身のキャリアや角田市の未来と結びつけ、地域課題解決に向けたミニプロジェクトの立案を目指します。

日程：2泊3日 学習形式：探究型・フィールドワーク

費用目安：¥121,000 ※あくまで参考価格であり、変動する可能性があります

参加規模：少人数制(対話を重視)

PROGRAM 3

モデルプログラム：東京・埼玉課題解決コース

現場での体験と 専門的な学びを掛け合わせる



首都圏の最前線(大学)と地域(横瀬町)を舞台に、現場での体験と専門的な学びを掛け合わせる2泊3日のプログラムです。地域課題を「自分事」として捉え直し、行政・大学・民間の「官民学連携の実践」を学びながら、実践的な解決策を考える探究型のプログラム構成となっています。

日程：2泊3日 学習形式：探究型・フィールドワーク

費用目安：¥121,000 ※あくまで参考価格であり、変動する可能性があります

参加規模：少人数制(対話を重視)

PROGRAM 4

フリープログラム

国や地方公共団体、学校、民間団体等が主催するプログラムも申請可能です！

※一般的な観光を主とするツアーや修学旅行、部活動の合宿などについては補助対象になりません。詳細はお問い合わせください。

補助概要

申請者自ら選択した探究活動を伴う国内外のプログラムの参加費用について、下記のとおり補助します。

	採択予定人数	補助対象経費	補助上限金額
海外	15名	参加費用の1/2	20万円
国内	10名		5万円

※補助額の決定には審査があり、すべての費用が補助対象にならない場合があります。

詳細については
こちらから

